

大会名 Competition	令和6年度 富山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技	場所 Place	富山県西部体育センター
NO. 特1	日時	令和6年6月2日	

高岡第一

富山商業

ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024

21 1Q 18  
78 21 2Q 21 72  
15 3Q 26  
21 4Q 7  
○ OT ●

Crew Chief	Umpire 1	Umpire 2
竹田 雄介	柳原 弘彰	澤田 大地

Table Officials
高岡南

高岡第一高校は4年連続5回目の優勝

高岡第一

NO	FL-IN	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	/	東海 遥生	0	0	0	0	2
5		柴田 大暖	0				
6	×	永原 嵩真	3	1	0	0	1
7	/	上田 雄和	4	1	0	1	4
8	×	古市 蓮	19	2	6	1	2
9	×	名畑 洸星	22	1	8	3	4
10	×	横山 駟	17	4	1	3	3
11	/	澤 優弥	0	0	0	0	0
12	/	中村 藍志	0	0	0	0	0
13		表 俊太郎	0				
14		白木 颯太	0				
15		澤田 新	0				
16		橋場 弘征	0				
17	×	田中 優蒼	13	1	4	2	2
18		新酒 諒輔	0				
			0				
			0				
			0				
			0				
コーチ		坂本 堯志					
Aコーチ		太田 晴					
		合計	78	10	19	10	18

富山商業

NO	FL-IN	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	藤井 誠也	16	1	4	5	5
5	×	岡本 樹	17	1	6	2	5
6	×	塩田 涼斗	7	1	1	2	1
7	×	萩中 蒼暉	6	0	3	0	3
8	/	堀井 晃心郎	1	0	0	1	0
9	/	飯田 春希	2	0	1	0	0
10		長戸 優汰	0				
11	/	松田 禅生	11	1	2	4	2
12	×	新木 敬大	12	0	5	2	2
13		刀野 翔	0				
14		浅野 慎斗	0				
15		富田 一颯	0				
16	/	笹岡 蒼太	0	0	0	0	0
17		志鷹 陽	0				
18		村椿 琉那	0				
			0				
			0				
			0				
			0				
コーチ		荒川 和樹					
Aコーチ		坂本 康耀					
		合計	72	4	22	16	18

戦評

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Qは高岡第一ボールでスタート。先取点は富山商業の#7がドライブからの2P。両チームともマンツーマンDFからの入りであったが、素早い攻守の展開で点の取り合いとなる。中でも高岡第一#9の中外からのシュートで5点差に。そこで富山商業がTOをとって立て直しを図る。その直後、高岡第一の強いプレスが始まるが、富山商業は逆にファールをもらいフリースローを決める。21対18で高岡第一がリードで1Q終了。2Qは開始後から高岡第一が優勢でゲームが進む。センター付近での強いプレスによる奪取から#8のドライブでゴール下へ。OFリバウンドを何度も奪って押し込む形が続き一時は9点差まで点差が広がる。その後は一進一退の攻防に。残り5分で10点差となり富山商業が2回目のTO、再開後に富山商業#12がドライブでファールをもらいながらの3点プレイを皮切りに追いつける。両チームともプレス気味のDFで対抗するが、富山商業が中外を使い分け残り3分で同点に追いつく。しかし、高岡第一も#8、#10の連続3Pで加勢し突き放すが、残り時間わずか富山商業#11がインに切り込んでファールを獲得、3点差まで追いつき、42対39の高岡第一がリードで2Qを折り返す。3QはゾーンDFでお互い迎え撃つが、富山商業#12へのアンスポがきっかけで同点になり、流れは富山商業へ。DFを物ともせず高岡第一#9や富山商業#4が入れあうが富山商業#12のフローターによる2Pで9点差となり、高岡第一はTOをとった。再開後、アクシデントで富山商業#7が負傷交代となってしまう。しかし、流れは富山商業のまま。さらに、富山商業#4と#5の連続ブロックショットなどがあり富山商業は勢いをつけて最終Qへ。57対65で富山商業がリードで3Q終了。4Q開始から高岡第一は強いプレスで、そのWチームを崩せない富山商業は苦戦する。高岡第一#9はカットからのドライブで2Pを続け、#8のフローターで残り3分に同点となる。お互いの執念のDFで当たりがさらに強くなる。しかし高岡第一がアンスポをしてしまう。だがリズムは崩れず徐々に差をつける。残り1分で富山商業がTO。富山商業は#5が5アウトで退場となり、TOをとるも続けて#4も退場に。取り返そうとした者もアンスポとなり、78対72で高岡第一が接戦を逃げ切って終了となる。高岡第一は4年連続5回目の優勝となった。